					かる程度情報記入されたシー	
- Jn + 1=	使用して、退院	入退院連携シート(	退院時共同指導説明	明書)	トを使って、カンファレンス	
	戦種カンファ				で合意しながら、各自で情報	
	を病院主導で	病棟	入院日		を追加記入する	
	さが、時間短縮	-4	平成年	月 日	hbsnus ( )	
	- (、時間巡船   診療報酬の請	診療科	アレルギー		HCV ( )	
求につた			□無□有		TPHA ( )	
1 366.71		主治医	担当 Ns		MRSA ( )	
氏名		<b>世</b> 年月日 年	月 日(	菱)	□男 □女	
住所			げる TEL			
		の形式が守られていれ	13, 1 L	1 1>	<u></u>	
病名	病院で使いやすく少し修正しても <b>&lt;既往歴&gt;</b>					
		いません(ID欄を削り いないなく 「OOcition				
		ンジしたら、「〇〇病院 。。に 3 ね て ラレ てくだっ		薬物欄	は、退院カンファ後の変更	
	(0)	うに入れて示してくだる			インスリン 3 回日→1 回	
プロナム				,, .	あること、お薬手帳などで	
入院中の				1	能であること、から作りま	
経過				、せんで		
				\		
		カンファの席で	・「どのように			
/÷/14=5,00	医師からの序件部の。	お聞きになって				
病状説明	本人:  問い、返答を各自記入する方  はままります					
と						
受け止め	家族:	級				
   保険 •						
体映・   社会福祉	□特定疾患受給者症 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					
社太畑仙   等	介護保険:要支援 1 2 要介護 1 2 3 4 5 □未 □申請中 [新規・更新・変更] ケアマネジャー名 事業所名					
<del>ज</del>	ケテマネンマー石					
		<u>                                     </u>		<u> </u>	 (左記の詳細)	
	1		は付す、口で(寝たまり)	-		
	寝たきり度 □J(自立) □A(外出要介助) □B(座位可) □C(寝たきり) □ 障害高齢者の日常生活自立度 □ 記 □ II □ III					
		□右上肢 □左下肢 □		. ]	こきり度)と認知症高齢者	
   身体状況					性活自立度は在宅では必	
分件1人儿	<b>拘縮 □無 □左上肢 □右上肢 □左下肢 □右下肢</b> 須となっています 褥瘡 □無 □有(部位 )(□D3 □D4 □D5)					
	□視力障害(□右 □左) □聴力障害(□右 □左) □言語障害					
	□祝乃降日(□石 □五   睡眠障害 □無 □有					
		·唑啶未 -部介助 □介助 □見守	 :り	!		
		品が切ってが □光寸 引 □きざみ □ペースト	_		チェック項目を増や	
療養生活	※□経鼻 □胃瘻	栄養剤名	□ С · Эv /·		→ すことで、記録時間	
	ベロ柱界 ロ月接 木食利石 (1日量 栄養 kCal 水分 ml)				の短縮を図りました	
	(Fr 製品名 ) 最終交換日 /				VALUE ZELI JE OTE	
に関わる						
動作	□尿道留置カテーテル(Fr )最終交換日 /					
(ADL)	□ストマー最終交換日  /  下剤の使用 □無 □右(    )  景終排便□  /				ステーション→病院への	
	下剤の使用 □無 □有( ) 最終排便日 /				入院時情報提供も同じ書	
	③清潔 □入浴 □シャワー □清拭 □□腔ケア			<u> </u>	式です。目が慣れると、	
	更衣 □自立 □部分介助 □全介助 ④歩行 □自立 □杖 □歩行器 □車いす(□操作可 □介助)				どこにどの情報があるか	
					が早く分かります	
]		↑助 □起座介助 □移乗	汀叨	; l		

		介護者					
家族の		キーパーソン					
状況		緊急時連絡先					
		□独居 □昼間独居					
		薬・注射 ロ服薬管理 ロインシュリン DBS 測定 ロ中心静脈栄養					
		□CV ポート □ペインコントロール					
	医	医療機器 □人工呼吸器 □在宅酸素療法 □ポンプ					
共	療	医療処置 □褥瘡 □ストマ □経管栄養 □吸引 □尿道留置カテーテル					
同	処	その他 □					
指	置						
導		   必要な医療物品(製品名)・調達先					
内							
容	身	□清潔 身体状況等の欄は別にある □食事・栄養					
	体	71 17 (DE () 5 [MI 633 1/2 (0) 6]					
	援	ので、ここは指導の習得状況					
	助	<del>□排泄   を主に記入   □そ<b>の他</b>                                      </del>					
	功						
		解決したい、取り組むべ					
今後の		き課題を絞って、共通認					
治療	課題	識していきましょう					
生活	課題						
		退院直後、特別指示書での訪問看護の必要性 □無 □有					
		退院予定日   月   日( )   時					
退院		退院後の主治医:					
予定日		在宅医:					
		訪問看護指示書 □不要 □要( 年 月 日 ~ ヶ月)					
57名1	n+	看護サマリー □不要 □要(  通) /搬送方法 □自力 □車いす □ストレッチャー					
緊急時		宛先を記入した返					
対応		信用シートを渡す					
病院	⇔ステ	Fーション ロ1 週間~1 カ月の間に、別紙にて情報の返信をお願いしま と、返信率が上がる					
<u></u> +	<i></i>						
平成							
以上(		字で、(入院中・入所中) の主治医・看護師等と共同で退院指導を行いました。 					
	病院	<b>强</b>					
医師名:							
		: : : : : 診療報酬請求要件を満た					
		<b>す</b> 書類として必要な聯種					
	訪問	明看護ステーション名 の参加者名を書く。または の					
		グラルイイと言く。よんは その場でサインをもらう。					
		官理有名:					
		在宅医、PTなどの職種は					
居宅支援事業所名 ケアマネジャー名: 適宜書き込む。							
参加した本人または家族に							
サインしてもらう :							
		7170(85)					
私は、	、上記	この内容の退院指導を受けました。					